

マレーシアに行ってきた ・・・その2



いもねえさん

マレーシア入国へ

寒い飛行機から降りると、まだ薄暗いような雑然とした、それでいて車のエンジン音は大きい飛行場を出た。

ここは倉庫かと思えるような場所でマレーシア人以外の場所に並ぶ。

順番に入国手続きをしていくのだが、ボヤッとしていると、顔だけ出して布をかぶった係員の女性にnextと言われ空いたところに行った。next！わかりやすい。私でもわかる。

そこでは、箱を指しそこに手を置けということなんだろうなー、指を置いた。そうやってる人もいたから。

何だろう。。。。

空港から外に出るとむわっと暑い。

バスがいっぱい並んでいる。

いろんな人が声をかけてくるんだけど無視！と。みんな同じ格好をしてるし運転手かどうかもわからない。

ここだな、と息子がプリントアウトした用紙を見せるとチケットを2枚くれて乗れという合図。

バスに乗ってクアラルンプールへ。1時間ぐらいたと。

高速道路の途中の景色はもうピロウヤシの群生！



そして目の前に、太陽が。まるで夕日のように赤い太陽が昇るところだった。

だんだんとクアラルンプールに近づき、通勤時間帯に近づくと車、そしてバイクが増えてきた。

近代的な大きな建物も増えてきた。

高速道路を降りると顔だけ出した衣装にヘルメットをかぶり、バイクに二人乗りも。

車社会と聞いたが車とバイク。新車も多いな。

この頃はまだ、顔だけ出した衣装をめずらしく感じていた。

飲み水とトイレが。。。

マレーシアは飲み水がない。

蛇口をひねれば飲み水という日本の方が、世界ではめずらしいのだ。

店に入っても水は出ない。

水がほしい場合はドリンクの中からミネラルウォーターを注文するのだ。

私たちはだいたい中国茶を頼んだ。香りからしてジャスミンティーのようだった。

トイレの情報は持っていた。

トイレトペーパーは備え付けてない。有料である。水は自分で流す。

トイレにホースがついていて、終了したら自分で蛇口をひねってホースで流した。

トイレトペーパーは1個持っていった。でも、ホテルはトイレトペーパーが備わっていてきれいだった。

totoのトイレではあったが、ネジをまわして水を出すという方式で、ウォッシュレットではなかった。冷たい！

ホテル以外のトイレはほとんどが有料、なのにキレイじゃない。

お金を払うと、ほんの少量のトイレトペーパーをくれるが、持参していたのでもらわなかった

。

トイレはできるだけホテルですます、これだね。

ジュースなんかの氷にも気をつけた方がいいと言われていたけれど

ホワイトティーを頼んだら、コップから山盛りに氷が乗って出てきた。

飲んだ。



ホテルにもどったらトイレから出れなくなってしまい、セイロガンを飲んだ。

クアラルンプールでコーラを頼んだら、氷入りかどうかを聞かれたので、前回の教訓から氷なしを注文。

そしたら、缶のままのコーラとストローがきた。その方がいい。



数十年前に北海道で絞りたての牛乳を飲んだ時も、私はダメだったなあ。。。

日本円をマレーシアリングットに両替

バスターミナルはまだ早朝で、開いていない店もあった。

でも何か食べようよ。

その前に両替しないと動けない。

息子はクレジットカードで両替するのがいいと、機械に向かった。

暗証番号を2度間違えたためブロックされてしまった！

母一、あなたクレジットカード持ってる？持ってるよ。キャッシングできる？知らん、したことないし。暗証番号は？知らん。

現金どのくらいある？おいおい最初からこんな感じでいくの？

2人合わせると、5~6万円の日本円があることがわかったものの。。。

あーあ、お金ないワ。これで我々はどこにも動けない、と。そんな一、、、

ターミナルの中をウロウロしてたら、両替所があり若いお兄さんが半分口を開けて寝ていた。

グーモーニー！

起きた！、ニヤニヤッ。グーモーニー！2万円を両替。結局この2万円でほとんどすべてがまかなえた。

物価は日本の3分の1という。

このおもちゃのような小さな紙幣とコインに慣れないとな。別の用意していたサイフに息子と分けて入れた。

リングット専用のサイフをもつ私が、支払い係りになった。この紙幣を出すようにと指示を受けながら。

頭の切り替えは難しいワ。

朝食で初めてリングットを使った

何か食べよう。

まだ店はある開いてないけれどバスターミナルだし、いくつかあった。

もちろん朝からカレーのにおいはプンプン。

ここにしよう。

トーストにゆで卵2個。1個でいいのに、、、それにホワイトティー。

よくわからないので指さした。



後で聞くと、紅茶にミルクと練乳を入れて、高い所から流しいれ、泡で山を作るのだ。

甘かった。トーストも中に甘いものがサンドしてあった。

おいしいね、何だろうねと言いながら食べた。

これもあとでわかった。KAYAというココナツジャムがたっぷり塗ってあったのだ。

ゆで卵は、お客さんがフォークでたたいてスプーンですくって食べていたのでマネした。

半熟どころではなく温泉卵だな。2個は多いんじゃない?と思いながらも2個食べた。

ここではいくら使ったのか全く記憶に無い。1人150円ぐらいじゃないかな。

キャメロンハイランドへ

バスを降りたら次は電車かモノレールに乗る。

私の券、擦り切れてるよ。テレホンカードぐらいの大きさ、強度。

何度も使うんだよ、この券は。

発券機もあったけれど窓口の方に人がいっぱい並んでいた。

自動改札、切符を入れたらすぐ出てくる。先に進んで取るのではないのかー。

ありゃりゃと取りにもどろうとしたら出口閉まっているし。息子が手を伸ばして取った。

席を譲られた。やさしい、、、私、老人に見えたのか？日本では譲られたことはまだないけど。

それから歩いて新しいバスターミナルへ。

息子がボーッと座っている。

キャメロンハイランドへ行くバスの会社を思い出そうとしているんだけど、思い出せないと。

たしか午後1時30分発だと。

さすがバスターミナル、窓口だらけ。が案内所なるものは見当たらない。

ちょっと回って見て来る、思い出すかもしれないから、と行ってしまった。

iPhoneをいじくりながら、うーん、思い出せん。。。

あの案内みたいな人に聞けば？ああいう人は、それだけでお金取るんだよ。ふ～ん。

けっこうのんびりかまえて、私が買ったマレーシアの本などめくっている。

じゃあ、今度は私が行ってみるわ、と無謀にも。

私の方が、さっぱりわからないのに、ウロウロして警備員の服を着たような人のいるボックスへ

。

もう、ハチャメチャ英語だ。2人で対応してくれた。でも何とか21番と。21番？、yes .thank you

！

21番だって聞いてきたよ。でも21番閉まっているじゃん。

今度は息子。10時30分発があるって。行こう！

キャメランドハイランド行きのバスは超豪華。2席と1席という広々としたバス。

ミラーが角のように上から出てぶら下がっている変わったバス、ピッカピカ！



座席の番号を見たら、他の人が座っていた。
いいんだよ、適当で。改札に来たけどチケット見ただけ。

5時間ぐらいかかるのかなあ。

高速道路のトラック、何で排気ガスの管が車の上に煙突のように付いてるんだろ。

トラック多いけど、中には、ドアがついてなくてカーテンのような布をヒラヒラさせてる車も。

日本じゃ絶対にあの車、高速道路走れないんじゃない？

高速をおりたら、カーブの連続で酔い止めを飲んで正解。

バナナの植樹があったり、おみやげやカゴみたいなものを売ってる小屋があったり。

急に別世界に来たような光景が。。。。





途中立ち寄った観光バスが止まるドライブインでは、ガチガチグアバを食べた。



S字カーブの連続でほとんどぐったり状態。バスの中もきっとみんなそうだね、静かだった。

茶畑やら街並みが見えてきて、午後3時頃キャメロンハイランドに到着した。

大盛りすぎだ。何でも。

キャメロンハイランドに到着。

車酔いもおさまり、何か食べようということになった。

観光客がけっこういる。

歩道に椅子やテーブルが並んでいるのでその間を通る感じだ。

目の前でナンを焼いていたし、カレーの臭いがプンプンしていて、その店のテーブルについた。

もちろん水はなし。

ドリンクは朝飲んだ泡の山のホワイトティーにした。甘いのが嬉しい。

そしてメニューからチキンの乗った写真のものを指差した。飲み物もthisといって指差した。

こんな大きなお皿に大きなナン、3種類のサラサラのカレー、いやどれも辛くて辛くて、、、真ん中の緑色のカレーは辛いししょっぱい。結局私はチキンをつついて、ナンを半分、ライスを半分といったところか。



外人だ

からフォークとスプーンをくれたが、右を見ても左を見ても、手で食べていた。

しかも右手だけで、左手はテーブルの下。左手は不浄の手らしい。

アツアツのカレーでさえも、手で混ぜて口に入れていたけれど、熱くないのかなあ。

しかも、大盛り。これで240円ぐらい。

ホワイトティーでも何でもカップの淵スレスレまで入っている。

私の残りは息子が食べた。

お菓子とチョコを買ってタクシーでホテルへ。

夜は毎晩雨だった。

雨季に入ったらしい。

日本人スタッフ、タカシさんが。

さすが、五つ☆のリゾートホテル。
感じが良かったらない。



しかも、日本人スタッフのタカシさんがいて、日本語で実に丁寧に説明してくれる。
絶対に20代だ、何でここにいるんだろ。

部屋に地図をもってきてくれて、タクシーの相場やら、見所やら、ここはオススメ、ここはオススメでないとか。

それで、ここで4泊するだいたいのスケジュールがおおまかに決まった。

私の体調にもよるんだけど、今のところあんまり薬のお世話にはなっていない。

キャメロンハイランドには退職して年金暮らしの人が多く住むらしいが、日本語は聞かなかったなあ。。。

もしかして、タカシさんは、年金暮らしの人の息子？などと勝手なことを話しつつも、寝てしまった。

水はミネラルウォーターを使うようにと。

部屋に用意された紅茶がおいしくて何杯も飲んだ。

明日はその紅茶園に行くのだ。

そしてここでもマグカップは大きなものだった。

何か、このチョコレートおいしいね、、、そう、マレーシアはチョコレートおいしいの、ネットで調べてきたもん。

トントン、、、クリス松村に似たスタッフが。

夜、8時前かなあ、そういえばこの部屋時計ないわ。

私時計なし。

ベッドのどこかをいじくれば時間がわかるのかな～

時間を気にせずゆったりとお過ごし下さいということかも。

トントンとノックの音。何かしゃべっている。息子が出る。

何か御用はございませんか、ということのようだった。クリス松村に似ている。

ミネラルウォーターが欲しいといったら、たくさんくれた。

息子の飲む紅茶の量はハンパじゃない、チョコを食べつつ。

他にベットメイキングとか、、、まだ1回も使ってないし。普通どんなことを頼むんだろう。。。。

メイドみたいな感覚なんじゃない？日本人でもメイドを雇ってる人もいるみたいだし。

ふ～ん、私なんか恐縮するのみだな。

歯ブラシ下さい、OK！

他にはないといったら、バラの花を一輪くれてgood night！

花くれたよ！ ああ、何とオシャレで素敵！早速コップに飾ってテーブルに。

そのクリス松村に似たスタッフと、若くニコニコしたもう一人のスタッフ。毎晩、御用は？と来

てはバラの花を一輪くれる。毎晩、バラの花が一輪ずつ増えていく。あ～何と優雅。。。。

最終日にはイチゴをもってきてくれた。



イチゴにはミルクだとばかり思っていたけれど、チョコレートシロップが真ん中にあった。
こんな待遇は初めてなのだけれど、とっても感じイイ！

お経のようなものが流れる

夕方、ムワ〜ン、ムワ〜ンとなにやら聞こえる。

放送のようだ。

もちろんさっぱりわからない。男性の声だ。

朝5時にも。

どうやらイスラム教のお祈りの声らしい。1日5回流れると。

ほとんど宗教に無関心な私にとっては不思議だ。女性は律儀に顔にか出してない。

だんだんと、このこの光景に慣れてきた。

ひとつの秩序を保っているんだな。

イスラム教が6割とのことなので顔しか出してない人が多いが、ヒンズー教、仏教、それぞれの宗教を大事にしている。

日本はそれぞれの宗教を大事にしてるのかなあ。

クリスマスでクリスチャンかと思いきや、除夜の鐘をお寺で聞き、翌日には神社に初詣だ。

中には熱心な人もいるけれど、生活そのものに前面には出てこないよね。

大半がナンチャッテ宗教だろうね。

超豪華、食べきれない朝食

朝、外はまだ薄暗い。

あなた、5時には起きると言ってたけど何時まで寝るわけ？と息子。

7時30分だと。

どうなってるのかよくわからない。外は薄暗いじゃない。

まあ、いい。朝食行こう。

あちこちからニコニコとグーモーニー！私も合わせてグーモーニー！

あなた、やるじゃん。だってグーモーニーだけだもん。

朝からいっぱいのお食事が出てきた。



息子のパンケーキはこれでもかと甘そうなものが積み上げられていた。



やっぱり水は頼まないと出てこないみたいだ。

頼めばくれるんだろうけれど、ジュースや紅茶を継ぎ足しにくるので必要はなかった。

マフィンやらドーナツ、ヨーグルト、、、どんどん持ってきてくれる。

ミネラルウォーターは品物の一つなんだろう。

日本では飲み水で洗濯もし、風呂にも入る、すごいことだとあらためて思う。

そうか、なるほどな。

息子がたてた予算、食費が安いとはいえ少なかった。

朝、ホテルでいっぱい食べるんだよ、それで1日もたせる、水を持つ。

私はほうじ茶パックを持って行ったのでそれでほうじ茶を作ってペットボトルに移してもち歩く

。

ゆっくりの朝食なので、これからは1日2食の生活になる。それで十分だとわかった。

それに、これがおいしい、というほどのものは、、、無いと。

この国に来て、今まで自販機を見ていない。どこでも見ていない。日本人って特別に水分多くとるのだろうか。